

# 自閉症・情緒障がい特別支援学級（ひまわり学級）自立活動 学習構想案

日時：令和3年10月20日（水）第3校時

場所：ひまわり学級教室

指導者：講師 加藤 芙美

## 1. 題材名

「困ったときにはどうすればいいか考えよう」

## 2. 題材における児童の実態

学習指導要領における自立活動の内容項目
3. 人間関係の形成 (3) 自己の理解と行動の調整に関すること
6. コミュニケーション (5) 状況に応じたコミュニケーションに関すること
教材・題材の価値
本題材は、日常生活の中で、困っている状況や状態に児童自らが気づき、改善するためにどのような行動をとればよいか主体的に考え、実践する態度を養うために設定した。児童が実際に経験したことがある（または児童自身が想定した）具体的なシチュエーションをもとに、それを解決するためにどのような行動をとることができるのか、3つの行動例から選択することにより、状況を想像する力を補いながら、より主体的な問題解決の行動について知識を得ることができると考える。また、児童自身が経験（想定）したシチュエーションを使用し適切な行動を学ぶことで、実際の生活の中で、児童が行動に移しやすいと考える。
児童の実態（題材の目標につながる学びの実態）

### 3. 題材構想

題材 の 目標	(1) 困っているときに、何か行動を起こす必要があることを知る。 (2) 困ったことへの対処について考え、適切な対処を選ぶことができる。 (3) 実際に困ったときにどうするか、具体的な対処を自分で考えて、行動に移す。		
<b>題材終了時の児童の姿（単元のゴールの姿・期待される姿）</b>			
・困っている状況に気付き、適切な対処を考え、行動する児童			
<b>題材をととした学習課題（題材の中心的な学習課題）</b>			
・児童の実際の生活の中で困る場面について気付く。 ・困ったときに、どう対処すれば適切か考える。			
<b>指導計画と評価計画（4時間扱い 本時 1/4）</b>			
過程	時間	学習活動	評価の観点
1	1 (本時)	困ったときの対応について、「あまりよくない行動」「どちらともいえない行動」「よい行動」を知り、よい行動を選ぶ。	・「あまりよくない行動」「どちらともいえない行動」「よい行動」に分類している。 ・「よい行動（対処）」を選択している。
2	1	「よい行動」はどんな行動か、1つ1つの状況で検討する。	・「よい行動（対処）」について自分でワークシートにまとめている。 ・ロールプレイで練習している。
3	1	困ったときのいろいろな対処法を身につける。	・気持ちを落ち着かせる方法、依頼方法、断る方法を練習している。
4	1	設定された困る状況で、自分で対処を考え行動する。	・学習を生かし、適切な行動がとれる。

### 4. 指導に当たっての留意点

- 本時の活動の流れを視覚的に示し、見通しがもてるようにする。
- 視覚的に理解できるように、紙芝居やワークシートを使って考える場面を設ける。
- 道具を使い、意思表示しやすくする。
- ロールプレイを取り入れ、具体的に場面が想像できるようにする。
- 意見や考えの良さを取り上げ、自己肯定感を高める。
- 普段の生活の中で生かせるように、学習を想起させる声掛けや掲示を行う。
- 本人の発言の一つ一つを大切に受け止めて、丁寧に返す。

## 5. 本時の学習

### (1) 目標

困ったときの対応について、「あまりよくない行動」「どちらともいえない行動」「よい行動」に分類し、よい行動を選択できる。

### (2) 展開

過程	時間	学習活動	指導上の留意事項
導入	10分	1. ウォーミングアップをする。 ・手押し相撲をする ・感想をワークシートに書く 2. 紙芝居を見て、「困る」状況について想像する。	○心と体のサインについて振り返るルーティンを行い、本時も気持ちの勉強をするという見通しをもたせる。 ○紙芝居で「困る」状況を具体的に想像しやすくする。
展開	30分	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <b>【めあて】</b> 困ったときは、どうすればいいか考えよう           </div> 3. 困ったときの対応は、3種類あることを知り、紙芝居の主人公の行動を分類する。 レッド：あまりよくない行動 イエロー：どちらともいえない行動 グリーン：よい行動 ◇レッドにした理由は、どこにいるかわからなかったら、みんな心配すると思うからです。 ◇友達が貸してくれなかったらどうするんですか。 ◇先生に相談する。 4. 自分の困ったことカードから1つ選び、3つの行動を書く。	○3つの色のカードを用意して、手元で意思表示を行えるようにする。 ○分類の理由を言語化させることにより、結果を予想できているか確認し、必要があれば補う。 ○グリーンの行動の具体例が他にないか考えさせ、たくさんの方の解決策を知ろうとする意欲を高める。 ○ワークシートを用いて、書くことが明確になるようにする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <b>【評価】</b> 「あまりよくない行動」「どちらともいえない行動」「よい行動」を考え、主体的に解決する行動を選ぼうとする。            (方法：発表、ワークシート)         </div>
終末	5分	5. 本時の学習をまとめる。	○本時の学習でわかったことを発表させる。 ○穴埋めで書かれたまとめを提示し、児童が意欲的に考えることができるようにする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin-top: 10px;"> <b>【まとめ】</b> 困ったときは、グリーンの行動を考えて行動するとよい。           </div>

【板書計画】

